

編集後記

温故知新。まさにこの第37巻の指導者に関する研究報告の2つはこう表現できると思います。時を遡って日本の伝統的な家元制を学び直し、今後の指導者養成制度を考えみるという斬新な切り口は日本というコンテキストに適したコーチ教育プログラム考察に対して重要な示唆を与えてくれるでしょう。そして日本体育大学が輩出した、現在の高校サッカー界を代表する指導者のリーダーシップに関する報告も、選手がコーチの行動を評価するという、ある意味タブー視されてきた部分に切り込んでいった大変ユニークなものでした。今後、更に質の高い、時代に即したコーチング文化を創造していくための研究を推し進めていくことが大切だと改めて感じさせられました。

(伊藤雅充)